

報道関係各位

2020年9月14日
株式会社川島織物セルコン

『祭の幕』展 開催

会 場:川島織物文化館
会 期:2020年9月15日(火)～2021年8月31日(火)

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市左京区 社長:木村弘一)は、本社に併設の川島織物文化館(京都市左京区)で、祭の山車※を彩る幕を紹介する「祭の幕」展を開催します。

祭の山車には、懸装品と呼ばれる織物や金細工、彫物などで、華やかに装飾されたものが多くあります。隣のものに負けじと豪華絢爛に飾りたてられた山車は、地域の人々の誇りでもあります。

当社は懸装品の幕の新調・復元を多く手掛けてきました。本展では、当社が手掛けた幕やその原画、織下絵、試織を紹介します。

今年は、本来人々の安泰を願うために行われる祭が、数多く中止に追い込まれました。間近に見ることの少ない幕を、近くでご覧いただきながら、お祭り気分をすこしでも味わって下さい。

※山車(だし) 日本の祭で引き回す車。曳山・山・やぐら・屋台などがある。



長浜曳山祭 常盤山胴幕
原画「森羅三郎義光足柄山の別れ」

祭の幕

【会 期】2020年9月15日(火)～2021年8月31日(火) (予定)

【会 場】川島織物文化館 (<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>)

【休館日】土・日・祝祭日、夏期、年末年始 (川島織物セルコン休業日)

【入館料】無料

川島織物文化館の運営について

川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・うがい・マスク着用の徹底、咳エチケットの実施などの対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご来館のお客様にもご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■当面の間、完全予約制とさせていただきます。

予約受付 お電話で承ります。 予約受付電話:075-741-4323

予約締切 見学希望日※の前日 16時まで (※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日)

■感染予防ご協力をお願い

ご来館のお客様にはマスク着用、消毒の実施など、ご協力をお願いしています。

詳細はホームページをご確認ください。

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン (<https://www.kawashimaselkon.co.jp/>)

報道関係の方から 広報担当 有賀・松本 TEL:075-741-4316

※当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、当社ホームページでも発表しています。

< 参考資料 >

主な展示作品

□ 祇園祭 菊水鉾



上段左より 前懸「大黒天」 後懸「布袋さま」 下段左より 胴懸「寿老人」 胴懸「弁天さま」 全て綴織試織

阪南秋祭 自然田上組



本幕 刺繍「龍虎図(部分)」

川島織物文化館 概要

1889(明治22)年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。

館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静市市原町265 株式会社川島織物セルコン内

TEL：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：土、日、祝祭日、夏期、
年末年始(川島織物セルコン休業日)

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日16時までに電話でお申込み下さい。

(※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日)

ご予約専用TEL:075-741-4323

ホームページ:

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

・京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分

・タクシー 約10分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約7分

●京都駅より タクシーで約40分

